

要請番号 (JL04825A25)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	C141 農業機械		個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業畜産省

2) 配属機関名 (日本語)

パロ農業機械・技術センター

3) 任地 (パロ県ボンディ) JICA事務所の所在地 (ティンブー市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

農業機械・技術センター(AMTC:Agriculture Machinery & Technology Center)は、1983年に効率的な農業技術開発並びに普及のため、農業機械化の促進を目指して設立され、全国に4つの地域センターを配している。配属先は農業機械の販売や修理、農業機械の貸出サービスなどを実施している地域センターの一つであり、JICA技術協力プロジェクト「農業機械化強化プロジェクトフェーズII」(2014年8月～2017年8月迄)が実施された。年間予算は約4,500万円。2025年3月現在、JICA海外協力隊(コンピュータ技術)が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、上述のJICA技術協力プロジェクトを通じて、農業機械試験基準と実施要領作成を行い、農業機械の操作性、安全性等にかかる適合試験を実施している。農業機械振興のため、政府は農業機械に関税を課しておらず、近年では日本やインド、中国、タイなどから農業機械が輸入されている。これらに対し配属先は、最新型の農業機械にも対応した適合試験を確立し、基準を満たした農業機械の導入・活用を推奨したいと考えている。職員の知識・経験を向上させることで、より適切な試験プログラムの実施ができるよう、JICA海外協力隊の要請がなされた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚と協力しながら、以下の活動を行う

- 農業機械の評価・試験を実施する業務を通じて、スタッフの知識、経験の向上を支援する。
- 農業機械の試験基準、試験実施要領の改良を支援する。
- 測定器の較正(精度の調整)にかかる助言、支援を行う。
- セミナーやワークショップの開催などを通じて、同僚スタッフの能力向上を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

動力計、振動計、騒音計、プッシュプルゲージ、オパシメータ、デジタルパワーメータ等

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

上長:エンジニア長、(50代、男性、修士)
カウンターパート:チーフエンジニア(40代、男性、大卒)
エンジニア(男女、4名、20～30代)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚の学歴水準に合わせるため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：指導的な活動を行うため

[参考情報]：

- ・メカニカルエンジニアの経験(必須)

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（-5～30℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

- ・任地での生活使用言語は英語もしくはゾンカ語。ゾンカ語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。